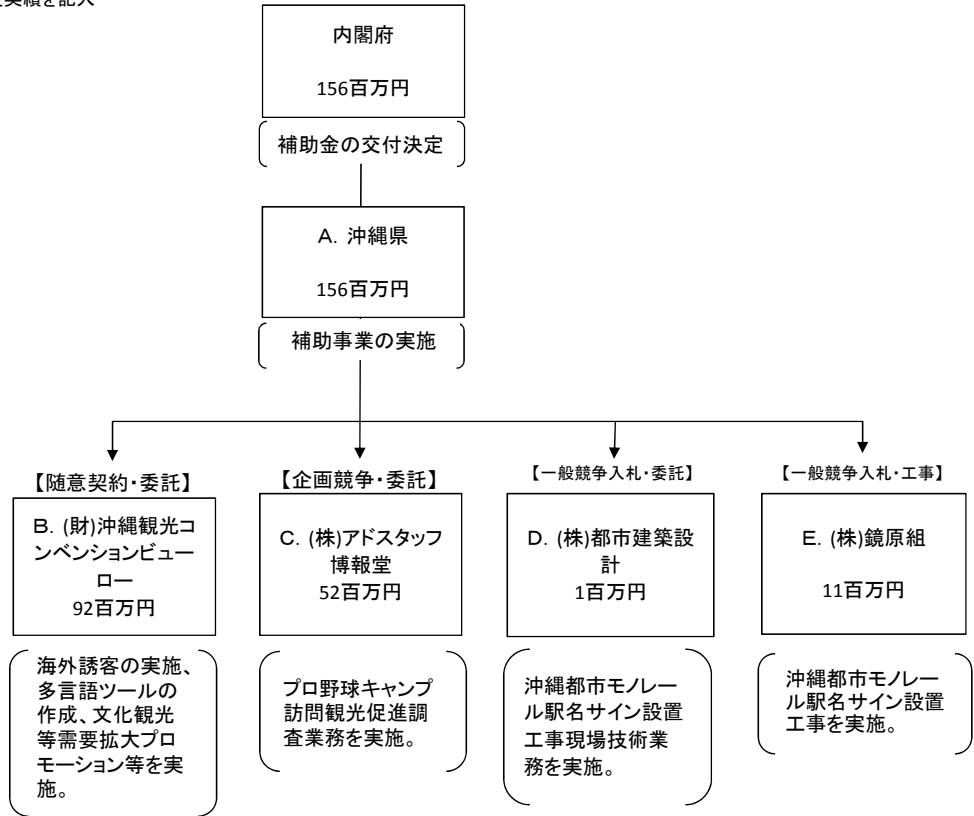


平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	沖縄観光力強化緊急対策事業		担当部局庁	内閣府政策統括官(沖縄政策担当)		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度(補正)		担当課室	企画担当参事官室		企画官 和久屋 聡		
会計区分	一般会計		施策名	9. 沖縄政策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法		関係する計画、通知等	沖縄振興計画(平成14年7月 内閣総理大臣決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沖縄県では観光立県の実現に向け、各種観光施策に取り組んでいるところであるが、平成22年以降は、円高や国際情勢等による観光需要への影響が懸念されている。 そのため、市場拡大や需要確保を図るため、沖縄への観光客誘致活動及び受入整備を促進し、平成22年度ビジッとおきなわ計画の目標である入域観光客数600万人(うち外国人30万人)の達成を目指す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・海外市場における誘客の実施事業(沖縄トラベルマートの開催等) ・モノレール駅舎他言語標記整備事業 ・多言語ツールの作成事業 ・スポーツ・ツーリズム等の推進事業 ・文化観光等の推進事業 実施主体: 沖縄県 補助率 : 2/3							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	170			
		繰越し等	-	-	0			
		計	-	-	170			
	執行額	-	-	156				
	執行率(%)	-	-	92%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(22年度)
	沖縄県入域観光客数	成果実績	万人	-	-	572	600	
		達成度	%	-	-	95		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	沖縄トラベルマートの海外企業参加者数	活動実績(当初見込み)	人	-	-	63	-	
					-	-	(90)	()
単位当たりコスト	0.2 (百万円/人)		算出根拠	(参加者旅費交通費+会場使用料、バス賃借料、通訳等)/参加人数 (中国・香港・台湾・韓国・シンガポール・タイ・ロシア等) =13百万円/63人				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	沖縄の観光については、県のリーディング産業であり、自立型経済の構築に向けて、その振興は国の責務である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>海外誘客の実施等を行った結果、3月に発生した東日本大震災の影響を受け、目標には届かなかったものの、平成22年度の外国人観光客数は過去最高の28.3万人を記録する等、沖縄観光の市場拡大、需要確保に寄与している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>事業の効果を検証し、得られた成果を反映できるよう総合的な取組を図るべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、適正な予算の執行に努めたい。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.沖縄県			E.(株)鏡原組		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	海外誘客、スポーツ・ツーリズム等推進	145	工事費	モノレール駅名サイン設置工事	10
工事費	モノレール駅名サイン工事	11	消費税	消費税	1
計		156	計		11
B.(財)沖縄観光コンベンションビューロー			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
直接人件費	委託先直接人件費	3			
旅費	商談会参加者旅費等	15			
役務費	通訳費、郵送費、広告料等	43			
会場借料等	商談会会場借料、バス賃借料等	1			
その他経費	消耗品、印刷費、管理費、消費税等	30			
計		92	計		0
C.(株)アドスタッフ情報堂			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
直接人件費	委託先直接人件費	11			
旅費	プロ野球チームとの事務調整等	1			
役務費	キャンプ情報ウェブサイト構築・運営、郵送費、広告料等	22			
会場借料等	キャンプ地巡回バス賃借料等	12			
その他経費	消耗品、印刷費、管理費、消費税等	6			
計		52	計		0
D.(株)都市建築設計			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	モノレール駅名サイン設置工事現場技術業務の委託	1			
計		1	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)沖縄観光コンベンション ビューロー	海外誘客プロモーション等を実施	92	随意契約	-
2	(株)アドスタッフ博報堂	プロ野球キャンプ訪問観光促進調査業務を実施	52	随意契約 (企画競争)	-
3	(株)鏡原組	沖縄都市モノレール駅名サイン設置工事を実施	11	7	92%
4	(株)都市建築設計	沖縄都市モノレール駅名サイン設置工事現場技術業務を実施	1	3	74%
5					
6					
7					
8					
9					
10					